

法人名	特定非営利活動法人 鶴見保育の会
施設名	ひだまりの保育園

発表者名 (職名)	山崎 和子 (園長)	住所	横浜市鶴見区鶴見中央4-7-15 1階		
発表者名 (職名)	山崎 舞 (保育士)	TEL	045-642-4555	FAX	045-642-4555
発表者名 (職名)	甲田 美香 (研究協力保育士)	メールアドレス	hoikuen@hidamarino.jp		
		URL	https://hidamarino.jp/		
		定員	19名	職員数	15名

## 発表の概要・内容

ふれあい遊びから生まれるつながり  
～0・1・2歳児が共に暮らす中で～

## ■はじめに

ひだまりの保育園では、ワンフロアで0・1・2歳児の19名が、保育士を含め家族のように過ごしている。日々、嬉しいこと、悲しいこと、ふしぎや疑問を共に感じ、そういう大人がそばにいることが大切だと感じている。そのためには、できる限り19人の思いを捉えようと意識し、全身の感覚で何かに出会っている瞬間を見逃さないこと、そして、そのような体験がたっぷりとできる時間や環境が大切であると考えている。日々、歌ったり、リズムを感じたりしながらふれあうことが多く、子どもにより様々な反応がある。ふれあい遊びを通して、子どもにとってのはじめての体験のなかで、気持ちの変化が生まれることに注目した。

## ■ふれあい遊びから生まれる様々な「こころもち」

ふれあい遊びは身近で温かい心の通い合いであり、子どもの気持ちの変化や気づき、喜び、など様々な「こころもち」に溢れている。

- ・ はじめての「一緒」 ♪親子でメリーゴーランド  
先生と、友だちと、ぬいぐるみと、それぞれ違った楽しみ方から、一緒に遊ぶ楽しさを共有する
- ・ 「やってみよう」 ♪電車にのって  
遊びこむと、なんだろう、やってみようという気持ちが生まれる。



## ■おわりに

大人と一緒に身体的にも心もふれあうことを繰り返す中で、少しずつ人やものと自らつながろうとする姿や、子どもだけの遊びに変わっていく様子も見られた。遊びたいという気持ちが生まれ、続く中で、興味や関心が刺激され「なんだろう」「やってみよう」という気持ちが膨らんでいった。保育士が子どもと同じ目線で遊びをみつめ、子どもが今何を感じて何に興味を示しているのか、子どもの軸(子どもから見)に捉えることが大切であり、それにより、子どもの遊びや人との繋がりが広がっていくのではないかと感じる。そのため、子どもが様々なことに感じ入っていることを大人が柔軟に感じ取り、自分の世界を作っていることや子どもの感性を大切にしながら、その世界をさらに広げられるようにしていきたい。

## メモ